



インスピレーションになるろう

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 五十嵐 博章 ■幹事■ 松尾 博之 ■会報委員長■ 普天間 操
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2018-19年度

第2674回

2019年4月26日(金) 点鐘12:30 《雨》

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

◇本日はいらっしやいませでした。

◆会長報告 五十嵐 博章会長

今日は、アーサー・フレデリック・シェルドンの奉仕の理念についてお話します。

職業奉仕とは何でしょうか。結論から述べると、職業生活を営んでいく上で、自らの事業に関連する関係者(顧客・従業員・取引業者)を対象にして行う全ての活動を総称して、職業奉仕と呼んでいます。従って職業奉仕の活動の場は、自らの職場だということになりますし、奉仕活動の主人公は、事業主であるあなた自身だということになります。そして職業奉仕を実践した成果は、これらの関係者全員に及びます。

この考え方を提唱したのが、アーサー・フレデリック・シェルドンであり、それを具体的に表すモットーとして作られたフレーズが、「He profits most who serves best 最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」です。なお、このモットーは、元来、1902年に創立された、シェルドン・スクールのために作られたモットーであり、「The Golden Rule 黄金律 Do unto others as you would have them do unto you 貴方が他人からしてもらいたいことを、先に他人にしてあげなさい」を経営学に基づく奉仕理念に基づいて分かり易く言い直した文章だと説明しています。

シェルドンのモットーの真意は、原因結果論から説かれています。炎という原因によって、熱という結果が生まれます。小さな炎には僅かな熱しか生まれませんが、大きな炎には大量の熱が生まれます。

サービスの概念も自然の法則であり、少ないサービスには少ない利益しか得られませんが、大きなサービスを行えば大きな利益が生まれるのです。そして、この法則はあらゆる職業に適用されるのです。原因があつて、結果が生まれることを忘れてはなりません。往々にして人が失敗するのは、この順番を間違えて、先に結果(利益)を得ようとするからです。健全に事業を営むためには、あなたの事業に関連する全ての人たち、則ち、従業員、取引業者、顧客、商圏の地域社会の人たちのお陰であることを忘れてはなりません。貴方が得た利益をこれらの人々に適切に再配分することが、継続的な事業の発展に繋がります。人間関係学から事業経営を考えなければなりません。良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であると考えて、適正な報酬を支払うこと。安全、福利厚生、社会保障、快適な生活を保証すること。教育の機会を与えることです。

資本家が利益を独占するのではなくて、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法なのです。企業がグローバル競争に勝つために、有能な人たちは正規雇用者としてしっかり確保する代わりに、単なる労働力として使う人たちは非正規やパートとして低賃金で雇うことは、シェルドンの理念に反する行為です。能力に応じた終身雇用制度や年功序列が復活しつつある現状も再考する必要があります。その代わりに、従業員には、最善を尽くして働くこと。過失を最小限におさえること。会社の管理運営に協力することが要請されます。

シェルドンは価値ある幸福の要素として、他の人々からの愛情や尊敬を受け、曇りのない良心と自尊心を持って、仲間との毎日、取引をした結果として物質的な富すなわち、報酬または利益を得ることは、事業を営む人として、この上ない幸福であると述べています。シェルドンの思想では、奉仕を実践すれば必ず物質的な富が得られるので、日本人が好む「清貧」という考え方はありません。

◆奉仕活動優秀ロータリアン表彰伝達

金親 博榮会員

長年に亘り、ロータリーイベントの「国際里山の集い」開催にあたり、各種団体への働き掛け、作業現場、懇親会の設営等に尽力されました…。(橋岡ガバナーより)



◆委員会報告

親睦活動委員会より (今井太志委員)
 <CSRゴルフ会報告 4月23日(火)>
 優勝⇒ 茅野 昌義会員



茅野会員 五十嵐会長

良い天気と良いパートナーに恵まれて良いスコアができました。お昼にニンニクたっぷりの焼肉定食を食べました。これが元気になる源で優勝に繋がったと思います。

有難うございました。

◆ニコニコボックス報告

《五十嵐博章会長・松尾博之幹事》

本日は平成最後の金曜日、そして平成最後の例会です。平成最後の卓話は北原会員の80年を生きてです。宜しくお願い致します。

さて、明日からの10連休は、皆様どのようにお過ごしでしょうか・・・。

どうぞお元気でお過ごしくださいますように。

《金親 博榮会員》

先日の地区協議会にて「奉仕活動優秀ロータリアン」として、ガバナーより表彰していただきました。

これはクラブの方々のご推挙により、長年ご支援頂いた賜です。有難うございました。

《CSR春のゴルフ会参加者より》

袖ヶ浦カンツリークラブにて13名がプレー

チャリティー 13,000 円

会費残金 3,243 円

本日のニコニコボックス	23,243 円	累計	284,170 円
金の箱	0 円	累計	20,449 円
ポリオ・プラス	0 円	累計	23,961 円

◆出席報告 (会員数46名)

出席者数	欠席者数	ビジター	4/12 修正出席率
25名	21名	0名	68.89 %

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [にご利用下さい。](#)

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	5/28	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	5/21・5/28	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	5/22・5/29	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水		ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	5/16	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	5/16・5/30	京成ホテルミラマーレ



会員卓話

演 題⇒ 『80年を激走』
 卓話者⇒ 北原 俊彦会員



私が生まれたのは千葉市の栄町です。場所は、すし波奈さんの川向いのあたりに家がありまして、川遊びをしてザリガニなどを取っていました。昭和20年5月までいました。

千葉市では昭和20年6月に空襲がありましたが、その前に逃げ出しまして、何とか助かりました。栄町は全滅して2棟だけ建物が残るような状況でした。父は中学校までしか行っておらず志願兵から大尉にまでなった立志伝中の立志伝の人でした。私は、幼稚園は女子師範の付属でして、昭和20年3月に卒業しまして、女子師範の付属小学校に入学しましたが、小学校には行けませんでした。空襲があり、学校に行けるような状況ではなかったのです。

戦後は貧乏していましたが、開拓団として10家族ほどで構成していて、父はこの家族が飯を食べるように面倒を見ていました。家では草履まで作るほどでした。入植したのは土気と千葉の間のあたりでした。そこから誉田中学まで通いました。3キロ程度はあったと思います。道路は砂利で、私は、学校に行くよりも山登りをして食べられるものを探しているという幼少期でした。

去年、自分史を完成させました。80年の自分探しの旅だったという3部構成で、私は工業学校を出ていますが、文字は得意ではないですが、写真集と川柳とか詩などをまとめたものです。先祖がいたから自分がいる、少しでも感謝の気持ちがあるのであれば、先祖を敬うということが何よりも大事であると思います。私はバイクが趣味ですから、バイクで遠い親戚などを訪ね歩いて文献を探したり、古老から話を聞くなどして、300年ほど前まで辿りまして先祖の系譜を作りました。

戦争が終わりまして、ろくに学校にも行けなかったのですが、母親の実家が栃木県の茂木という所があるのですが、昭和20年5月に逃げ出して、そこに疎開をしていました。その学校にも行った記憶が無いんです。夏になると川に飛び込んで遊んでいた記憶があります。

いとこたちとも疎開の生活を一緒にしていて、いまだに付き合いがあります。

戦争が終わりまして、千葉市緑区高田で育ちました。あの当時、運動場の真ん中に立っていたクスノキですが、今の感覚で行くとそんなに大きくないのですが、子どものときは大木でした。鉄くずを拾ってはくず屋さんに行ったり、汽車で千葉に行ったりしたときなどは、満員で機関車の石炭の上に乗って千葉に行って映画を見たりしていました。今思うと危険なことによく親も許したなと思いますね。

昭和26年に中学校に入学しまして、全校マラソンというのがあったのですが、私はぶっちぎりで1着で、鉛筆が30本入った賞品をもらいまして、その頃は物が無い時代でしたから、大変嬉しかったですね。高校は千葉県立市川工業高校に入学して、陸上競技部に入りまして、私は豪傑というあだ名で、体力テストで学校一番でした。やり投げもやっていました。高校時代はもう1ついいことがあり、生徒会の選挙に出まして、選挙に勝ちまして、生徒会をやりました。昭和32年3月6日に卒業式がありまして、私は代表して卒業証書をもらいまして、私は、段の上から降りるときに、絶対に独立してやるという決意を持ちました。小学校、中学校で苦勞してましたから、何とか親を楽させたいと思いました。兄がいましたが小学校1年生から高校卒業するまで全部5なんです、私は、1から5までがバランスよくそろえて、勉強しないから成績がいいわけがないですよ。兄貴コンプレックスでしたが、幸い、兄貴は優しい兄貴でした。やがて兄貴はバイクを買って、トヨタ自動車から引き抜かれて専属レーサーになりまして、バイクのグランドチャンピオンになりました。そんなわけで、独立するには何をすればいいか、ということで、悩みに悩みまして、合うのがなくて、築地にも1年いたんですよ。築地はけんか腰なんよ。これには耐えられなかったですね。学校に戻って、就職の先生に真面目にやるから紹介してくれ、ということで東京の京橋にあります設備会社の技術員として就職することになりました。設備会社で現場担当をしたのですが、その中に防災器具である消火栓だとか消火器というのがありまして、これを扱う仕事をすることにしました。昭和37年に総合防災ということで協同組合設立にも参加し、県が推進していた消防防災の設備協会社団法人の会にも参加して、会長、理事長もしまして、いまは相談役です。それから、中小企業家同友会というのにも知り合ひまして、経営とはなんぞや、ということをお勉強しました。そこも代表理事をおさめまして、いまは相談役です。小泉首相から千葉で始めて直接総理官邸で賞状をいただきました。

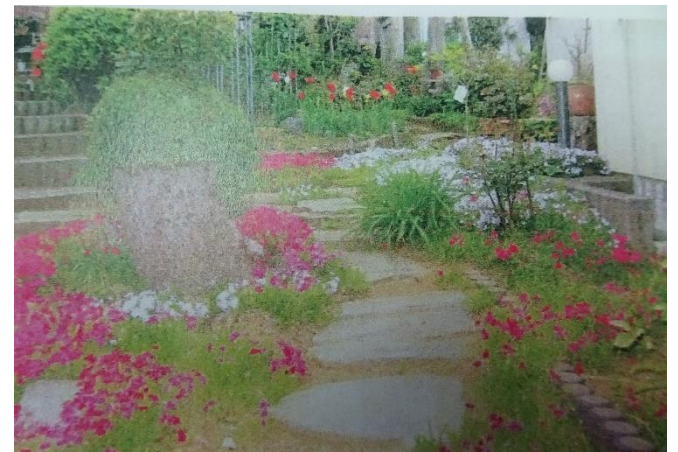
嬉しいという感覚とか、厳しいという感覚でした。藍綬褒章を頂きまして、天皇陛下にもお会いしました。



最後に、人と人との出会いはとても大切です。いまのクラブには危機感を持っています。やがてかなり会員の減少を見ることになると思っています。ちょっと今の人数は寂しいですね。若い人には頑張ってくださいと思います。



箱根・十石峠にて モトクロスに熱中



自宅庭にて (芝桜)



自宅庭にて (バラに囲まれて)

第2675回例会

日時→ 2019年5月10日(金) 点鐘12:30

卓話→ 『会員ミニ卓話』

齋藤 昌雄会員

<会報当番：酒井 秀大>